

小学校教員における感情体験の社会的共有が協働的職場風土に与える影響

森本寛訓 (川崎医療福祉大学)

キーワード：小学校教員，感情体験の社会的共有，協働的職場風土

問 題

「チームとしての学校(中央教育審議会, 2015)」運営が求められる小学校の現場において、教員間の協働を実現する職場風土づくりは重要な検討課題といえる。本研究では小学校における協働的職場風土 (Collaborative School Climates : CSC) に影響する要因として小学校教員による感情体験の社会的共有に着目し、その影響を分析することを目的とする。この研究では小学校教員の感情体験として彼らが体験するポジティブ、ネガティブ職業生活出来事 (Positive, Negative Work Life Events : PWLE および NWLE) を取り上げ、社会的共有を PWLE および NWLE の開示行動 (PWLE, NWLE Disclosure : PWLE-D および NWLE-D) と、それらに対する応答行動 (Responses to PWLE-D, NWLE-D : PWLE-R および NWLE-R) によって捉えた。また CSC 以外の感情体験の社会的共有に関する各概念のエピソードは、個々の対人援助職者内で日常的に体験される Within レベルの側面を持つと考える。よって Within レベルでの感情体験の社会的共有がもたらす影響も検討するために、モデル 1, 2 (Figure 1) を用いてマルチレベル構造方程式モデリング (Multilevel Structural Equation Modeling : MSEM) 分析を行った。

方 法

調査は 2018 年 5 月に Web を用いて行われた。具体的には、調査会社から調査内容を示した Web 画面が週に 1 回ずつ 3 回配信され、その Web 画面から回答が得られた。なお、調査内容については Web 画面の最初で調査対象者に説明し、調査参加への同意を得た。調査対象者は調査会社のモニター会員より現職場に 1 年以上勤務している小学校教員が選ばれた。その後 3 回の調査に全て参加し、かつ回答時に努力の最小限化 (Satisfice) が認めら

れないと判断された 47 人を調査の対象者とした。調査対象者の平均年齢(標準偏差)は 48 歳(9.791)、性別人数は男性 30 人、女性 17 人であった。調査対象者には PWLE と NWLE(Morimoto & Inada, 2018) と、PWLE-D, PWLE-R, NWLE-D, NWLE-R (未公開) を測定する項目に対し、各 1 週間の体験頻度を評定させた。また CSC は 3 回目の調査時に淵上(2005)が作成した項目について自身の職場に当てはまる程度を評定させた。得られたデータは各調査回の変数ごとに総計して得点化した。MSEM 分析は Mplus version 7.4 で行った。

結果と考察

MSEM 分析を行うあたり CSC 以外の変数のデータの階層性を確認するため級内相関係数とデザインエフェクトを算出した(清水, 2014, 2016)。その結果、各データに階層性があることが認められた。

MSEM 分析で算出されたパス係数とその検定結果を Figure 1 に示す。モデル 1 のパス係数より、Within レベルの傾向として PWLE-D のみ、または PWLE-D と PWLE-R の両者の体験頻度を高いと評定すると、PWLE の体験頻度も高いと評定すると考えられる。そして Between レベルである対人援助職者間の集団的傾向としては上記と同様の傾向に加え、自らの職場は CSC に当てはまる程度が高いと評定すると考えられる。モデル 2 のパス係数から Within レベルの傾向として NWLE-D の体験頻度を高いと評定すると NWLE の体験頻度も高いと評定すると考えられる。さらに Between レベルでは NWLE-D の体験頻度を高いと評定すると NWLE の体験頻度も高いと評定して CSC に当てはまる程度は低いと評定するが、一方 NWLE-D に加え NWLE-R の体験頻度も高いと評定すると NWLE の体験頻度は低いと評定して CSC に当てはまる程度は高いと評定する傾向にあると考えられる。

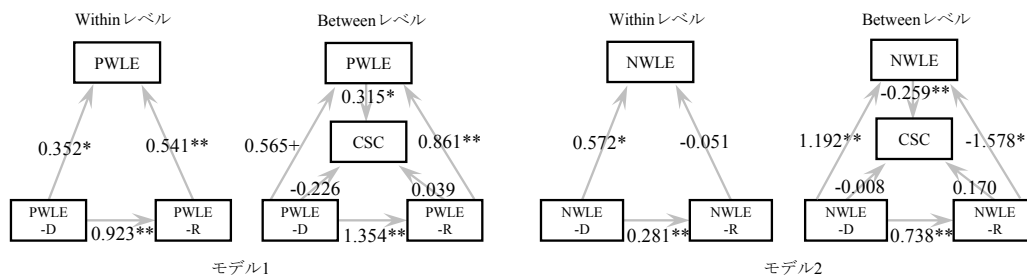


Figure 1. PWLE-D, PWLE-R, またはNWLE-D, NWLE-Rの社会的共有がPWLEまたはNWLE, そしてCSCに与える影響を示したモデル1, 2と, MSEM分析によって算出されたパス係数 (非標準化係数)。

** $p < .01$, * $p < .05$, + $p < .10$